

## 6月14日～18日 U-12卓球男子日本代表の強化合宿 夢はオリンピック



U-12卓球男子日本代表が八代トヨオカ地建アリーナで5日間の強化合宿を行い、全国から選ばれた小学4年生～6年生10人が八代で汗を流しました。

参加した岩井田駿斗選手は「集中して練習に取り組み、3年後のパリオリンピックでは金メダルを目指します」と意気込みを語りました。

## 6月5日～11日 第14回紫陽花祭り ランタンに灯をともして冥福を祈る



球磨川堤防沿いの紫陽花ロードと本町1丁目のがらっば広場で紫陽花祭りが開催され、100種類以上の紫陽花が人々の目を楽しませました。

11日には令和2年7月豪雨災害などの犠牲者を追悼するセレモニーがあり、小学生らが作成したランタンの輝きが会場を幻想的な雰囲気に包みました。

## 6月18日 坂本中学校の防災教室 正しい知識を身に付け災害に備える



坂本中学校で防災教室が行われ、生徒26人がタブレット端末を使った情報収集の方法や簡易ベッドの組み立て、炊き出し訓練などの避難所運営を学びました。参加した古閑美羽さん(1年)は「防災教室で学んだことを生かし、自分とみんなの命を守りたい」と話しました。

## 6月16日 晩白柚がギネス記録を更新 認定証届く 重さで世界一



1月20日に「最も重いザボン類」としてギネス記録に登録された、東陽町の晩白柚農家の前田一喜さんに、ギネス認定証が手渡されました。これまでの記録より500g以上上回る記録に、前田さんは「台風の直撃もなく夏場に干ばつがなかったことなどが重なり、こんなに大きく育ちました」と話しました。

## 6月28日 園田選手、嘉村選手がオリンピック出場を報告 目指せ金メダル



東京2020オリンピックバドミントン男子ダブルスに出場する園田啓悟選手と嘉村健士選手(ともに八代東高校出身)が市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長に出場を報告しました。園田選手は「勇気と感動を与える試合をしたい」、嘉村選手は「協力して表彰台に上られるように頑張りたい」と述べました。

## 6月24日 YKKAPから「うちの安全ドリル」の贈呈 家の中での思わぬ事故を防ぐ



YKKAP株式会社の村上肇九州製造所長が市役所鏡支所を訪れ、子どもに人気のキャラクター「うんこ先生」を活用した小学校低学年向けドリル約3,100冊を中村博生市長に贈呈しました。村上所長は「うち時間中の思わぬ事故を未然に防ぐためにも、ぜひ親子で一緒に読んでほしい」と話しました。



Twitter



Facebook



市ホームページ

### 7月1日 有佐小児童と八農生徒が田植えで地域交流 田んぼの中でどろんこ



八代農業高校の水田で有佐小学校5年生と同校園芸学科3年生が、交流活動の一環で一緒に田植えをしました。1時間ほどで水田一面にきれいに整列した苗が並びました。柴田紗由希さんは「大変だったけど高校生が優しく教えてくれたので上手にできました。おいしいお米になってほしい」と話しました。

### 6月30日 トヨタ自動車九州から電源キット「Re-Q」の貸与 安全安心のために



トヨタ自動車九州からハイブリットカー用電源キット「Re-Q」とプリウスが貸与されました。Re-Qはハイブリット車を非常用電源に変換する装置で、ガソリン満タン時にはスマートフォン約7200台を充電できます。同社の原田聡次世代事業室長は「災害への備えとして活用してほしい」と話しました。

### 7月9日 全国高等学校総合文化祭出場校へ奨励費贈呈 高校生最大の文化の祭典



第45回全国高等学校総合文化祭に出場する生徒が、出場報告のため市役所鏡支所を訪れ、中村博生市長から参加奨励費が贈呈されました。美術・工芸部門に秀岳館高校と八代工業高校、写真部門に八代百合学園高校と八代工業高校、弁論部門に八代農業高校泉分校、放送部門に八代高校が出場します。

### 7月7日 泉第八小児童と八農泉分校生徒が地域交流 山や川とともにある泉町の楽しみ方を学ぶ



泉第八小学校で同校児童と八代農業高校泉分校の生徒がイノシシの皮を使ったブレスレット作りと、カヌー体験をしました。山村亮太さん(6年)は「高校生が優しく教えてくれたので楽しかった」と話し、市村一日さん(同高校3年)は「みんなが笑顔で楽しんでくれたのでよかった」と話しました。

## 東京2020パラリンピック 出場決定おめでとう



黒田智成選手

**種目:**5人制サッカー  
(ブラインドサッカー)

**出身:**二見洲口町

**所属:**たまハッサーズ

**得意プレー:**  
スピードに乗ったドリブルからのシュート

**代表歴:**

- 2014年 世界選手権
- 2015年 アジア選手権
- 2017年 アジア選手権
- 2019年 アジア選手権

**ブラインドサッカーとは**

全盲の選手がアイマスクをし、音の出るボールを使用して行う5人制のサッカーです。競技の魅力は、仲間の声と練習を信じて闇の中を疾走するなか、タイミングがぴたりと合う奇跡の瞬間です。

**東京2020パラリンピックへの意気込み**

2004年のアテネ大会で正式種目になって以来、日本はチームとして初めてのパラリンピック出場です。熊本地震や令和2年7月豪雨では遠くにいて何もできないもどかしさを感じましたが、ふるさとへの感謝の気持ちとブラインドサッカーを多くの人に知ってほしいという願いを込めてプレーしたいです。



ドリブルで敵をかかわす黒田選手(右)